

# 雄武地域マリンビジョン かわら版 検討

第42号  
H24.11.20発行

このかわら版は、雄武町における水産業を核としたまちづくり（地域マリンビジョン(以下MV)※）について、活動内容を皆様にお知らせするため発行しております。

## 灯台が赤いのはなぜ？～雄武小漁港見学～

9月21日（木）雄武小学校の「総合的な学習の時間」で、雄武漁港の体験学習が行われました。

3回目となる漁港見学は、6年生31名が参加。地元漁師の四辻裕二さん（雄武船頭会長）が講師を務め、普段あまり見ることができないせりの様子や漁船、灯台などの見学に感動しながら、それぞれに雄武の水産業を学ぶことが出来ました。

また、灯台見学では、灯台の役割は？どうして赤色？などたくさんの質問がありました。



質問の答えは、かわら版の最後で！

## おうむっ子に旬の味を！ 雄武漁協から給食センターへ鮭の食材提供

10月12日（金）雄武前浜産の鮭を使ったオホーツク汁が町内小中学校の給食メニューとして登場しました。

材料の鮭は、食育・地産地消の取り組みとして雄武漁業協同組合から無償提供されており、いつもとは一味違う旬の味と地元食材の良さを感じてくれたはずです。おいしさについては、子供たちの笑顔を見れば明らか！！

雄武の鮭を  
ガブリッ！



※地域マリンビジョンとは？  
北海道開発局においては、明日の活力ある北海道水産業の将来像を「北海道マリンビジョン21」として示しています。雄武町では、「北海道マリンビジョン21」に示された主旨に賛同し、H17年度より「雄武地域マリンビジョン」の検討を進めており、平成19年12月にモデル地域に指定されたところであります。



## 「集合！整列！訓練開始！」



～ 雄武救難所海難救助訓練 ～

救助技術の向上を図り、効果的な海難救助を行うため、雄武救難所員の海難救助訓練が10月19日（金）に実施されました。

当日は10月8日に発生した海難事故による犠牲者に黙祷をささげた後、訓練を開始。強風が吹くなか、救命索発射訓練、心肺蘇生訓練、想定船消火訓練を本番さながらの緊張感のなか救難所員全員が真剣に取り組んでいました。



## 新設備の導入相次ぐ！

作業効率・衛生管理を強化 ～ 底建網

底建網漁業で漁船にフィッシュポンプの搭載、陸揚げに選別台を導入する漁業者が増えています。近年、豊漁が続いているスルメイカを効率よく漁獲、選別することが狙い！

ポンプは、網の中のイカや魚を吸い上げ、船槽に送り込む機材で、魚で網がいっぱいな時も機材に負担をかけることなく水揚げが可能となります。また、選別台については、作業者の負担軽減だけでなく衛生面での強化も図られており、新設備導入による効果が期待されています！



## フィッシュポンプ



— 選別台 —

意見・感想など、ご遠慮なく下記へお寄せ下さい。

### 質問の答え



防波堤の上に立っている灯台は港の入り口をあらわしています。灯台の色は、港に入る時、右側が赤、左側が白で塗装されています。

### 【編集・発行】

雄武地域マリンビジョン事務局

### 【お問い合わせ先】

雄武町役場 産業振興課 水産係

Tel 0158-84-2121 Fax 0158-84-2844

mail sangyo@town.oumu.hokkaido.jp